

清流の辺

令和5年4月12日
丹波中学校 学校だより
校長 古屋 修宏

入学式

4月7日、村長様をはじめ3名の来賓の皆さまに御臨席いただくなか、令和5年度丹波中学校入学式が、無事行われました。

式のなかでは、入学生一人一人が、入学への抱負をスピーチしてくれました。大きな式場ですので、緊張されたことと思いますが、どの生徒さんも堂々と発表されていました。

また、在校生から入学生へ、温かいメッセージと歌のプレゼントが送られました。

参加くださった皆さんに感謝申し上げます。



R5, 4, 7 令和5年度 丹波中学校 入学式

ICT（情報通信技術）教育の充実

4月10日には、通常の授業がスタートしました。私がおどろいたのが、ICT機器の充実です。教員は大型モニターで生徒に資料をわかりやすく提示し、生徒はタブレット端末を活用して、自分で学びを進めています。丹波中学校では、見慣れた風景かもしれませんが、他地区から来たものには、機器の充実に驚かされました。

こうした道具を、有効活用し、成果に結びつけることが、学校の役割と考えます。物的資源の有効活用を図っていきます。



大型モニターによる資料提示

コミュニティー・スクール

もう一つ、丹波中学校で驚いたのが、地域の皆さんの力です。「大豆を育てて味噌をつくらう」という打合せ会に参加させていただいたのですが、地域の方が子供たち（保・小・中）のために、たくさん関わってくださいます。一緒に育てていこうとしてくださる姿勢に驚かされました。大豆や舞茸、さらさら獅子舞にスケートと、コミュニティー・スクールの全体計画を見ますと、多くの方が関わってくださいます。地域全体で子供たちを育成していこうという気運を、とてもありがたく思います。